

# 薬草栽培だより

No. 101 令和4年2月21日

富山県薬事総合研究開発センター

薬用植物指導センター

〒930-0412 中新川郡上市町広野 2732

電話 076-472-0801

FAX 076-472-0353

## 気象経過について

昨年12月の気温は平年並となり、降水量は平年に比べ多くなりました。また、今年1月の気温は平年に比べ低くなり、降水量は平年より少なくなりました。

春一番は吹きましたが、まだまだ寒い日が続きます。春作業の確認を今一度お願いいたします。

## 春季薬草の管理

### 共通管理

降雨や融雪後の春作業においては、ほ場内に水が停滞しないよう、排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底してください。

### 個別管理

#### ① トウキ

##### 1) 湯通しについて

昨年11月頃に収穫した根を生薬に仕上げて出荷するには、「湯通し」の作業が必要です。方法の詳細は別紙(今年度の対象者にのみ同封)をご確認ください。「湯通し」ができない場合は、この作業を行う前の状態(一次乾燥根)でも出荷できますが、可能であれば「湯通し」を行い増収を目指しましょう。

##### 2) 根の集荷について

今年は、3月の下旬から4月中旬に集荷する予定です。当センターから種苗を導入された方は、当センターでまとめて出荷できますので、ご連絡をお願いします。

なお、一次乾燥根として出荷する場合の作業手順は次のとおりです。

ア. 稲刈り鎌、剪定鋏で、トウキの根の黄色部が見えるまで茎葉を切り込みます。この時、根の色が黒ずんだ褐色になっていれば腐りですから、黄色部が見えるまで切り捨てた後、風通しのよい室内に並べて乾燥してください。

イ. 調製した根は腐りやすいので、出荷の2~3日前に通気性のある袋に入れ、袋毎に秤量して、氏名・重量を表記しておいてください。

##### 3) トウキ苗の供給について

今年、トウキの栽培を希望される方は、次の「4) トウキ苗、種子の注文について」をご確認のうえ、当センターまでお申し込みください。

##### 4) トウキ苗、種子の注文について

3月11日(金)までに、希望数量を当センターまでご連絡ください。

【苗】 価格:7円/本

植付本数:4,000~5,000本/10a

【種子】 価格:4,500円/ℓ

※種子1ℓで約10,000本の苗が採れる見込みです。

※苗床(バラ播き)は1ℓを播種するのに約0.5a必要です。(注文は0.1ℓ単位)

・苗のお渡しは4月上旬頃からできるよう努めますが、融雪の状況により遅れることもありますのでご了承願います。

##### 5) トウキの地ごしらえについて

降雨や融雪後の地ごしらえは、土が乾いた状態で施肥、耕耘、畦立てを実施してください。基肥は、下記のとおりです。

水田転換畑では、畑の周囲に開渠を設けて水はけを良くし、畦高20cmの高畦に、排水良好な畑地では、畦高10cmの平畦にします。

畝幅は、1条植えて80cm、2条植えて170cm程度です。

除草対策として、白マルチ(裏面が黒)を掛けると労力を省くことができますが、トウキの根の生長には決して良くありません。年3回の手取り除草が可能であれば、マルチを掛ける必要はありません。

トウキの基肥(kg/10a)

発酵鶏糞	300
苦土石灰	100
過磷酸石灰	60
化成肥料(磷加安15号)	40

※植付けの1ヶ月前に石灰窒素 40 kg/10a を

散布しておく雑草の伸びを抑えることが期待できます。ただし、定植までの期間に余裕がない場合は、トウキの生育障害が懸念されますので、散布を控えてください。

## 6) トウキの定植について

定植は4月下旬までに終わるようにします。標準的には10a当たり植付本数は4,000~5,000本です。苗が乾燥すると活着(苗立ち)が悪くなるので、作業日程を考慮して定植日を決めてください。定植日に合わせて苗を供給いたします。

## ② シャクヤク

### 1) うどんこ病の防除

新芽の展開時に、ダコニール 1,000 又は水和硫黄剤等を散布します。(散布回数などは栽培マニュアルを参照、あるいは電話でご確認願います)

### 2) 摘蕾摘花

#### 薬用種(梵天)の場合

丸い蕾が上がってきたところで、生垣バリカンや草刈り鎌等で切り落とします。開花してしまったものは、早めに花首から摘み取り、ほ場外で処分します。

#### 兼用種・観賞用種の場合

1年生株は、蕾のうちに手で摘み取り、株の養生を大切にします。

2年生株は、蕾を一つ残して他は摘み取ります。花が咲いたら花形を確認し、早めに花首から切り落とします。

3年生株については、1株のうち 7~8 本の茎の蕾を小さいうちに摘蕾し、栄養茎として残します。

他の茎は、切花として利用できます。大きな頂花を咲かせるため、頂端の蕾を残して脇の蕾を摘み、地際より剪定鋏で切ります。

4年生以上の株は一人前です。1株当たり 8~10 本の茎をバランスよく選んで摘蕾し、栄養茎として残します。他の花茎は3年生株の場合と同様、脇の蕾を摘蕾し切花として利用できます。

### 3) 追肥

2年生以上の株には、3月下旬と6月頃に化成肥料を追肥します。株間のマルチを少し破って、根の先端部分に当たるところに軽く一握りずつ与えます。施肥量の目安は3月に 40 kg/10 a、6月に

80kg/10 a です。

## 令和4年度の種苗価格

- ・希望者は、当センターに直接申し込んでください。
- ・近年、希望者が少ない品目は、種苗の準備に年数を要するものがあります。

作物名	種苗形態	単位	価格(円)	10a 当たり所要量
エビスグサ	種子	ℓ	400	2ℓ
オウレン	種子	ℓ	5,000	15ℓ
	苗	本	6	20,000 本
シャクヤク	薬用種	株	40	2,000 株
	兼用種	株	350	1,500 株
	観賞用種	株	650	1,500 株
トウキ	種子	ℓ	4,500	2ℓ
	苗	本	7	5,000 本
ハトムギ	種子	ℓ	400	1ℓ
ハブソウ	種子	ℓ	400	2ℓ
ミシマサイコ	種子	ℓ	5,000	2ℓ
ホソバオケラ	球根	kg	400	180 kg
アマチャ	ポット苗	個	150	100 個

## 薬用植物の状況

薬用植物全体で、国内産が注目されていることと、水田の転換作物としても県内の生産組織などから問い合わせが増加しており、生産が拡大してきています。

### ① トウキ

- ・令和3年度富山県薬用作物生産振興方針の中で、生産拡大推進品目として位置づけられており、導入の検討をお願いします。

### ② シャクヤク

- ・薬用種「梵天」の栽培は、平成 22 年から急増し、4 年経過した平成 26 年秋から収穫が始まっています。今年度も収穫され、同時に苗株の増産も見込まれますので、新規栽培者あるいは栽培面積の拡大を希望される方は、当センターまでご相談をお願いします。